

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月26日			記入者	
部 名	保健福祉部	課 名	障害福祉課	内 線	2684
事務事業名	知的障害者授産施設機械整備費補助事業				
予算上の事務事業名	知的障害者授産施設機械整備費補助金				
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11310
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				事業開始年度
施 策 名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	社会福祉法人の助成に関する条例 知的障害者援護施設整備に係る市有地の貸付け及び建設費補助等助成要綱				
3 個別計画の概要	計画名		概要		
	相模原市障害者福祉計画		障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画（前期10～14、中期15～18、後期19～22） 施設福祉サービス		
計画年次	10	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				
	知的障害者授産施設の設備整備費の一部を助成することにより、工賃の安定確保及び利用者の自立助長の促進を図るもの			(2) 対象(誰、何)	
				社会福祉法人すずらん の会	
	(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。				
	該当なし。				
6 関連・類似事業や他市の状況	国制度に基づいて事業を実施しており、他自治体と大きな差異はない。				
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	0	10,194	0	0	0
一般財源	0	3,398	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	6,796	0	0	0
人件費の合計	0	1,065	0	0	0
事業コスト合計(a)	0	11,259	0	0	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名				
	知的障害者授産施設機械整備費補助事業			対象名称 (単位)	補助対象施設数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	0	10,194	0	0	0
対象数	0	1	0	0	0
単位あたり経費(円)	10,194,000				
前年度比					

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	授産種目数(授産種目数)	指標式と指標の説明	授産種目の選択肢が多くなったことにより利用者の授産活動意欲の向上及び障害の特性に応じた配置が可能となる		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	3.0	3.0	4.0		
目標	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	設備整備率(当該年度設備計画数 ÷当該年度設備整備実施数)	指標式と指標の説明	当該年度整備予定の設備整備が実行されているかを指標とした		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	100.0	100.0		
目標	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
目標達成度		100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		本事業は、国庫協議により国が採択した施設整備に対して、市が制度的補助金の市負担分及び上乗せ補助を行ったものである。 補助事業の市と法人の負担割合については、国の補助制度改正による建設コスト削減の誘導及び施策ニーズに合致する施設整備は市単独補助を行うという考えのもと、市と法人の適正な応分負担を図る補助制度の見直しを行ったところであり、今後も継続して事業を進めていく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 利用者の授産活動意欲の向上及び障害の特性に応じた配慮を検討し、真に利用者の社会参加に必要な設備整備を考える必要がある。			14 課題として認識されたこと 特になし。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			